うまがんべえ

2015 No. 58 **2**

- 渡部農園農事通信 -

福島県南会津郡下郷町大字沢田字宅地続甲25　０２４１ ６７ ２７８６

1月のベストショット1月12日の朝日

２月からレイアウトや文字を変えてみました。文字はことり文字ふぉんと言うそうです。昔から字が下手な私は書くことが嫌いでした。自分の字が読めないなんていうのは日常茶飯事。今でも自分の字が読めない時が多々有ります。一方ありがたいことに妻は字が上手です。お米や林檎ジャムに同封するお手紙は彼女なしには考えられません。彼女が用事でいない時の手紙を書くプレッシャーたるや！字を上手に書くということはバランスセンスもあると言われますが、先生の話を素直に聞くということもあるそうです。言われた通りにやってみる。できなければ黙々とできるまで、やる。商売の神様の松下幸之助も素直さの尊さを説いています。素直であるから人のせいにせず自分の足りなさを認め努力する。４２歳になった私はそのことをしみじみとそして心の底から実感しています。お米や林檎、野菜などにも当てはまる気がします。素直に育てた作物は素直な味がします。素直に育てるというのは作物の欲する時に欲する量だけ与えるということです。自分の手間を惜しんだり、収量を上げようと狙ったり。農業も素直さが一番。素直に目覚めた４２歳でした！（とか）

（会津木綿の林檎ジャム）

１個800円税別、６個までが送料同じです。

今月の感銘を受けた言葉

素直に生きる

『逆境ーそれはその人に与えられた尊い試練であり、この境涯にきたえられてきた人はまことに強靭である。古来、偉大なる人は、逆境にもまれながらも、不屈の精神で生き抜いた経験を数多く持っている。まことに逆境は尊い。だが、これを尊ぶあまりに、これにとらわれ、逆境でなければ人間が完成しないと思い込むことは、一種の偏見でなかろうか。逆境は尊い。しかしまた順境も尊い。要は逆境であれ順境であれ、与えられた境遇に素直に生きることである。謙虚の心を忘れぬことである。素直さは人を強く正しく聡明にする。逆境に素直に生き抜いてきた人、順境に伸びてきた人、その道程は異なっても、同じ強さと正しさと聡明さを持つ。おたがいに、とらわれることなく、甘えることなく、素直にその境涯に生きてゆきたいものである。』

『道をひらく』松下幸之助著
PHP出版

（（農園レシピ））

『牛蒡花林糖』

（材料）

ごぼう　1/2本
片栗粉　大さじ1
砂糖　　大さじ2
醤油　　大さじ1
えごま（白ごまでもOK）大さじ1
揚げ油　適量

（作り方）

1、えごまを炒っておく。
2、ごぼうを6cm長さに切り、8等分くらいに細く切って水にさらしておく。
3、1の水気を切り、キッチンペーパーなどでよく水分を拭き取る。
4、片栗粉をまぶし、少なめの油でカリカリになるまで揚げ焼きにする。油を切っておく。
5、鍋に砂糖と醤油を入れ火にかけ、４を加えよくからめる。えごまを加えてできあがり。

えごまの風味と牛蒡の香りがよーくマッチしてます。えごまは最近手に入りやすくなりましたね。健康ブームだからでしょうか？えごまは下郷町の特産でもあります。えごま油なんかもありますよー。